

1	審議会名	平成25年度第2回城南公民館運営審議会
2	日時	平成25年12月4日(水) 午前9時30分から午後00時00分まで
3	会場	上田市城南公民館1階まちづくり活動拠点室
4	出席者	荒木昇会長、岩下和江副会長、有賀西夫委員、関泉委員
5	市側出席者	池田館長、滝沢次長、小林統括主査、田中社会教育指導員、中村実社会教育導員
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成25年12月11日

協議事項等

1	開 会 (滝沢次長)
2	荒木会長あいさつ 寒さも厳しくなってきた。健康には気をつけて過ごして欲しい。 運動会が中止になったのは残念であったが、他の事業は順調にしていると思う。 反省点も含めて審議をお願いしたい。 池田館長あいさつ 運動会が中止になったのは残念であった。本年最後の審議会のため、いろいろな意見をお願いしたい。
3	審議事項 (1) 平成25年度実施事業状況と今後の事業計画について (ア) 公民館主催講座事業概要 (委 員) 申込みの多い講座は、城南地域の住民を優先にしたらどうか。また、抽選は本人が行うのか。 (事務局) 2人1組として申込みを認めているが、その人の分も含めて事務局が抽選を行っている。 (委 員) 2人1組として申込みをして、何か問題はないか。以前は先着順で申込みを受付していたが。 (委 員) 申込みの多い講座は、募集人数、回数を増やすのも方法ではないか。 (事務局) 早朝から並ぶ人がいたり、電話との兼ね合い、また2人1組として申込みを認めている場合は、先着順だと難しい。バスの定員の問題もある。なお、自然観察会は年数回行うが2回目からは、その年度初めての人を優先している。 自然観察会は、安全面、健康面も考えなければならない。 今回は、講師の都合、2回しか開催できないが、来年に向けてできる範囲内で回数を考えていきたい。 講座には、城南地域外の人でも現状ではいる。多くの皆さんに参加してもらえよう地域外の人でも認めている。 (委 員) 実際、城南地域以外の人利用も多いと思うので、申込み人員が限られていると参加できない地域内の人から苦情もでると思う。 (委 員) 参加者の中には、毎年出たい人もいる。 (事務局) 2人1組の申し込みの場合は、1人は城南地域の方だが、もう1人は地域外という組み合わせも多い。今年参加した人は、次回は遠慮してもらおうなど来年に向けて検討したい。館に直接言いづらい陰の声も大切にしたい。またマニュアルづくりも必要と思うので検討したい。

(委員) 申込みした人は、どのくらい実際参加するのか。

(事務局) ほぼ申込みした人は参加するが、体調を崩すなどキャンセルする人も時々いる。ただ材料費を伴う講座に欠席者がでた場合は困る。

(委員) 「男のお勝手」の10周年記念料理は何か。

(事務局) メニューはまだ決まっていない。ただ、この講座は持ち込み講座が始まりで人気のある講座だ。

(委員) 城南地区文化祭で、発表時間が短くもっと見たい団体があった。1日を通して開催することはどうか。

(委員) 団体の中には、もっと発表したい団体もあればそうでない団体もあると思う。見ている人もそう感じているのではないか。発表に融通を持たせることも必要。

(委員) 発表時間を団体によって変えることも方法ではないか。

(事務局) 発表時間を変えることは難しい。長いのは飽きる人もいる。また午後のコンサートを楽しみにしている人もいる。

(委員) 作品展の話になるが、準備は出展団体が行うようになっているが、協力してくれる団体とそうでない団体が見受けられる。ルールを決める必要がある。

(事務局) 昨年そのように見られたので、今回公平になるよう団体名と氏名を記入してもらうようにした。

(委員) 文化祭プログラム会議で「準備とかたづけ」について重点的に話し合うことはどうか。

(委員) 現在きっちりしたマニュアルがないと動けない人が多いように感じる。プリントしたものが必要ではないか。

(事務局) 逆に指示前に勝手に動く人もいるので、困っている。

(委員) 以前は作品展も分館役員が手伝った記憶がある。

(事務局) 創造館で行っていたときは、発表会、作品展を同じ日時で行っていたのでそういったことも必要であった。

(委員) 以前携わったふれあい広場では、利用者の代表者が役割を決めていた。参加者が多い事業は、皆さんが責任を持って運営していくよう指導することが必要である。

(事務局) 良い意見である。市民協働を進めるにも実行委員会を組織して運営することも検討したい。

(委員) 開催前に実行委員会を数回開くことになるが、すぐに組織することは大変なので徐々にそういった形に持っていければ良いのではないか。

(事務局) 団体に投げかけていきたい。

(委員) 利用者団体の中には、利用している部屋の入口に設置してあるボードに、記入をしないで利用している団体も見受けられる。

(事務局) 利用者団体会議でも再度注意を呼びかけたい。

(委員) 会議の内容は、会の皆さんに確実に伝達してもらいたい。

(事務局) 誰もが気持ちよく使えるようそのように徹底し、意識を変えたい。

(イ) 分館振興、学社連携、社会教育活性化プログラム、体育系事業概要

(事務局) 今年度「社会教育活性化プログラム」を実施している

(委員) 「上田市城下地区安全・安心な防災推進事業」について川辺・泉田地域の皆さんにも確認をとってあるか。

(事務局) 申請までの期間が短時間であったため、すでに活動していた城下地区防犯・防災協議会を中心とした組織からの申請となっているが、現在城下地区自治連からも川辺・泉田地区自治連などを通して呼びかけをし、城南地区全体のものにしていくよう提案されている。

(委員) 両者がうまく行くようお願いしたい。

(ウ) 青少年育成事業概要

(事務局) 自治会懇談会の前に、昨年の家庭の日の作文審査で優秀賞をとった作品を読んで

もらって始めるようにしている。

(エ) ことぶき大学事業概要

(委員) 健康に関する講演会は関心があるのではないか。

(事務局) 医師を講師に迎えての授業は行っている。

(委員) 申し込みは電話でも行っているか。

(事務局) 本人が直接出向き、本人に記入させる。これはその後授業を続けていけるか健康状況等の確認の場ともなっている。本年、実際にボランティアを取り入れたり、若い女性講師に講演会をしてもらったが、評判が良かったので、今後も趣向を変えていきたい。

(オ) 人権同和教育関連事業概要

特になし。

(カ) 福寿クラブ(高齢者団体)関連事業概要

(委員) 室内スポーツフェスティバルは良い企画と思う。昼食はどのようにしたか。

(事務局) 弁当を持ってきてもらっている。

(キ) 解放子ども会事業概要

(事務局) 会員の確保が課題である。関係者にもご苦労いただいている。

(委員) 引き続きお願いしたい。

(2) 城南公民館の利用状況について

(事務局) 昨年の同時期と比較すると 1.4 倍、旧館の時と比較すると 2 倍以上の利用となっている。

4 その他

公民館活動功労推薦について

(事務局) 該当する方がいれば、推薦をお願いしたい。

5 今後の日程

1 2月4日(水) 城南地区人権を考える市民の集い(城南公民館 午後7時)

1 2月7日(土) 上田市防災講座 気象予報士 高田 齊氏(城南公民館午後1時30分)

1 2月16日(月) 分館三役会(城南公民館 午後7時)

1月12日(日) 上田市成人式(上田創造館 開式 午後1時30分)

2月上旬 分館役員委嘱式及び合同会議(城南公民館 午後7時)

上小・東御公民館関係者研修会

ア 日時 平成26年2月22日(土) 午後1時30分から

イ 場所 東御市文化会館サンテラスホール

ウ テーマ 「活力ある地域づくりと公民館の役割」

茨城大学長谷川准教授による講演

上田市上野が丘公民館による分館事業実践発表 ほか

6 閉 会

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。

